

R2 年度 県学力・学習状況調査結果より

R2 県学調平均

【学力の伸び】

	4年国語	4年算数	5年国語	5年算数	6年国語	6年算数
埼玉県	64.3	64.2	62.1【3】	61.7【2】	58.8【3】	59.0【1】
狭山市	63.2	61.3	61.4【3】	60.2【0】	57.3【4】	56.5【0】
柏原小	63.8	60.2	62.9【3】	58.1【0】	58.0【4】	56.1【-2】
学力を伸ばした児童の割合			85.1	46.0	81.3	38.5
学力を伸ばさなかった児童の割合			14.9	54.0	18.7	61.5
学力の伸びの状況			どの階層も伸びている	中間層伸びていない	どの階層も伸びている (特に下位層)	中間層伸びていない

	国語 【県平均±4%以上】			算数 【県平均±4%以上】		
	領域	観点	問題形式	領域	観点	問題形式
4年		【-5.2】 話す・聞く能力	【-18.1】 記述式	【-8.2】 図形 【-8.1】 数量関係	【-5.3】 数量や図形についての知識・理解	【-4.4】 選択式 【-7.3】 記述式
5年	【-7.6】 話すこと・聞くこと・書くこと	【-5.9】 話す・聞く能力 【-9.3】 書く能力	【-12.1】 記述式	【-5】 数と計算	【-4.8】 数学的な考え方 【-4.9】 数量や図形についての技能	【-4.9】 短答式 【-8.1】 記述式
6年		【+5.5】 話す・聞く能力	【-7.3】 記述式	【-4.8】 量と測定 【-4.1】 図形	【-4.4】 数量や図形についての技能	【-10.7】 記述式

【「規律ある態度」達成目標質問紙調査】 「できる」が8割を下回った項目

- ・整理整頓 (4年)
- ・あいさつ (4年, 5年)
- ・ていねいな言葉づかい (4年)
- ・学習準備 (4年)
- ・話を聞き発表する (4年, 5年, 6年)
- ・集団の場での態度 (4年)

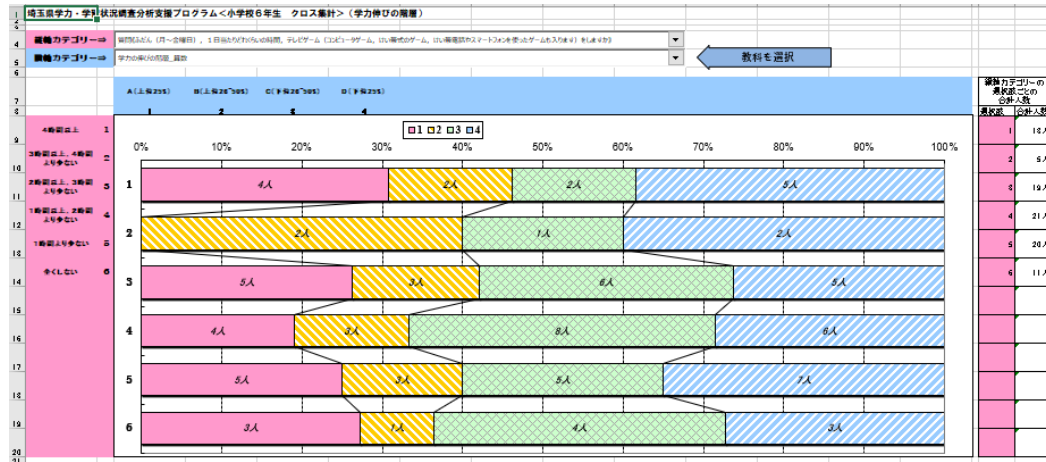


<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科学力の向上 (特に、算数)</li> <li>・算数の学力を伸ばす指導法・指導体制の工夫 (特に、中間層)</li> <li>・話すこと・聞くことへの苦手意識を取り除く指導の工夫</li> <li>・書くことへの苦手意識を取り除く指導の工夫</li> <li>・規範意識の向上</li> </ul> <p>(取り組み策例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実態に基づいた指導の実現                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の学習方略・非認知能力について、児童一人一人の状況把握 (各学級に配付 → いつでも見られるように週案簿等に貼付)</li> </ul> </li> <li>○コバトン問題集・復習シートの活用</li> <li>○授業改善 → 書く活動を意識的に取り入れる                              &lt;問題 課題(めあて) 見通し 自分の考え 友達の考え 自分まとめ 学習感想&gt;                         </li> <li>○クラススピーチ・講話朝会の聞き取りなど</li> </ul>
--

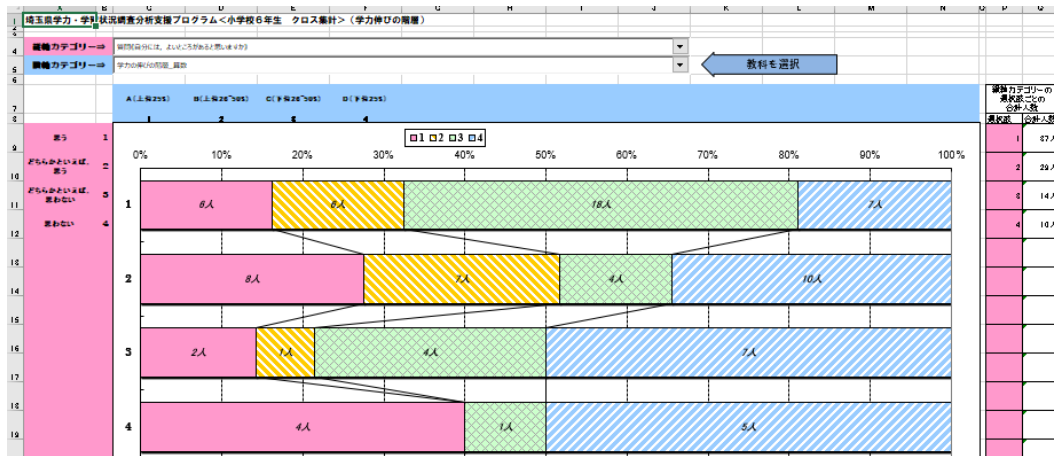
## ◎分析支援プログラムより

☆分析支援プログラム（さらに、分析を深め、仮説を設定し、それに基づく取り組み、検証を行う）

(1) 「1日あたりどのくらいの時間テレビゲームをしますか」と「学力の伸びの階層算数」をクロス集計 → ゲームをしない子は伸びている？とも言えない。



(2) 「自分にはよいところがあると思いますか」と「学力の伸びの階層算数」をクロス集計 → よいところがあると思っている子は伸びている？とも言えない。



☆いくつかの項目をクロス集計してみましたが、こういう子は伸びているというものが、うまく見つかりませんでした・・・

# 柏原小学校の県学力・学習状況調査結果を受けて

令和2年12月7日  
教務主任

## 《柏小（学年）の課題》

### 国語

- ① 話す、聞く能力が低い。
- ② 書く能力が低い。記述式問題に弱い。

### 算数

- ① 算数について、中間層の伸びが少ない。
- ② 算数の学力が全体的に低い。記述式問題に弱い。

### 規律ある態度達成目標

- ① 話を聞き発表することに苦手意識がある。
- ② 規律ある態度達成目標質問紙 「できる」という意識が低い。  
「規律ある生活態度」「できる」が8割を下回った項目が多い。

## 《具体的な課題解決策》

### 国語

#### ①【話す・聞く】

- ・1年から当たり前にできるようにする。
- ・各教科、授業の中で話をする機会を多くすること。
- ・ペア学習、グループ学習を行う。
- ・朝の会で1分間スピーチを取り入れ、発表する。(初めは型を示す。)
- ・朝の会の1分間スピーチの発表を聞き、大切なことは何だったかを他の児童に聞く。
- ・国語「あなたは、どう考える」の意見文を一人ずつスピーチする。

#### ②【書く・記述】

- ・書く活動を意図的に取り入れる。
- ・書くことを発表させ、具体例を出させて共通理解させてから、書く活動を行わせる。
- ・毎日ジャーナルをやっているので、5分間で5行以上必ず書く。
- ・宿題でちゃんと書けている作文の視写を行う。
- ・授業で「書く」領域を丁寧に扱う。

## 算数

### ①【中間層を伸ばす】

- ・一人一人に目を向ける。
- ・個々に応じた課題。
- ・他者から刺激をもらいながら学習をする。
- ・児童を理解する。
- ・授業において、良く出来る児童・躓いている児童は目立ちやすいが、ある程度できている児童はある程度でとどまっている可能性もある。学習の中で学び合いを設定し、児童同士で教え合う中で学習を理解し、少し難しい問題にも挑戦出来る様になると良いのではないか。
- ・算数を習熟度別クラス編成で中間層を引き上げる。
- ・授業中、学び合う場の設定（ペア学習・グループ学習）
- ・授業と宿題がリンクしているといい。
- ・計算ドリルのさせ方。①問題を解く。（途中式や筆算など、痕跡を残す。）  
②答え合わせの仕方（中学年くらいで自分で丸を付ける方法を学ぶ）  
③間違えた問題を振り返る。
- ・宿題が力をつけるために行えていない児童（答えの丸写し。適当な○付け）を把握し、指導する。

### ②【学力・記述】

- ・計算ドリルを使って反復学習をして定着を図る。
- ・テストの時には、問題の量を把握し、時間配分等、見通して問題を解く力をつける。  
最後の問題まで解けていない児童がいる。
- ・基礎基本の定着が必要。
- ・記述式問題を解かせる。（経験がない）

## 国語・算数

- ・県学調のような問題形式に慣れていないということも原因の一つ。各学年で採用するテストを記述が多いものにしたたり、似た形式の問題に定期的に触れさせたりなど、少し高度な問題になれる様にする。

→ コバトン問題集（全学調）、復習シート（県学調）の活用  
県ホームページよりダウンロード可能

## 規律ある態度

### ①【話す・聞く】

- ・発表する場の設定。（授業中）
- ・意図的に発表機会を作る。
- ・書くことに夢中で話を聞いていない。→ 何を言っているのか分からない。聞くことの指導。
- ・意識して、深く考えさせる取り組みをさせる。

### ②【できる意識】

- ・できていても自分のことを「できる」と言い切ることが出来ない児童は自己肯定感の低さか？普段からこの項目についてできていることを認め励ます。
- ・日々の生活の中で声かけをして、できたことを一緒に確かめさせる。

## 《他教科等に生かせること》

### 【話す・聞く】

- ・1年から当たり前にできるようにする。
- ・各教科、授業の中で話をする機会を多くすること。
- ・ペア学習、グループ学習を行う。
- ・発表のパターンを考え、発表しやすいようにする。
- ・先生や友達が話をしていたら、最後まで静かに聞く。
- ・発表したいと思わせるような教材研究を行う。
- ・語彙力向上のため、辞書を活用する。
- ・スピーチの機会を設ける。

### 【書く・記述】

- ・低学年のうちから書くことに慣れさせると良いのでは。(各学年での振り返りジャーナルの実施や自主学習の推奨)
- ・どの教科においても自分の考えを書かせたり、それを伝え合ったり、説明したりする活動を習慣化させる。
- ・書きやすい課題で書く習慣を付けさせる。
  - 理科の実験の時に、予想や結果をしっかりと書かせることで、書く訓練をさせる。
- ・課題に対するまとめを自分の言葉で書けるようにする。
- ・授業の振り返りを、書かせる。自分の考えを自分の言葉で書かせる。
- ・ジャーナルを書く時にも、習った漢字を使うこと、事実と考えを分けて書かせることを指導する。
- ・どの学年でも家庭学習の中で、記述問題に取り組みさせる。  
(国語や算数は系統立てた家庭学習プリントなどあると良いのではないか。)

### 【中間層を伸ばす】

- ・一人一人に目を向ける。
- ・個々に応じた課題。
- ・他者から刺激をもらいながら学習をする。
- ・児童を理解する。

### \* 参考資料

埼玉県学力・学習状況調査 活用リーフレット

「私の学校・学級ではこんな取組が効果的でした！」